
秋吉台パークボランティア 第44号 12-15,2008

秋吉台パークボランティアの会 会長 末永 豊明
事務局 美祢市秋芳町秋吉台山 秋吉台管理事務所内
TEL. 0837-62-0640 FAX. 0837-62-0324

これからの 秋吉台パーク ボランティアの会

10年一昔というが、私たちの会ができてもう10年になる。夢中で突っ走った10年だった。

時代も大きく動いた。現代はボランティアの力が地域の改革に大きな役割を演じるようになってきた。秋吉台の利用は観光中心に大きく広がってきたが、保全の力はどんどん小さくなっている。

行政では、秋吉台の保全を実施してきた秋吉台管理事務所は消滅の状態にした。だから、私たちのボランティアが孤奮闘して、秋吉台を護っている。これでいいのか、頭を傾けて考えるのだが、私たちに出来ることはコツコツと続ける以外に方法はない。

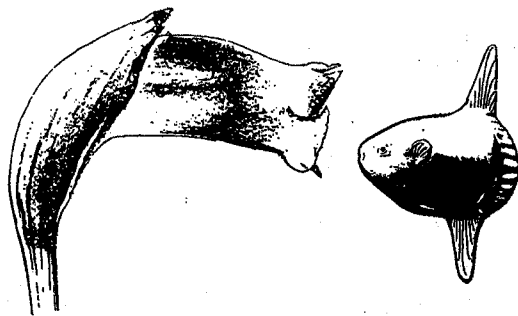
ともあれ、私たちは、楽しみながら秋吉台の修復に全力を投入して、少しでも美しい秋吉台を維持するだけだ。秋吉台の自然に触れながら、自然からたくさんものを学び、芸術文化を楽しみ、自己向上に生かすだけだ。そのためにはお互いのできることを教えあい、学びあうことが大切だ。こういったパワーを拡張しようではありませんか。

秋吉台の文芸を楽しんだり、歴史を楽

しみ、草木染めを楽しみ、紙芝居を作り、歌を歌い、絵画芸術を楽しもうではありませんか。

これから、10年先を見越して、若い会員を集めることも大切だ。みなさんの知恵を出してください。これからの会の進歩は本会の第2期を受け継ぐ人々によって達成されるだろう。

「成長を続けるものだけが生き残る」という言葉は、現代を通じて見ても、真実だ。会は新しい取り組みをしながら、どんどんマイペースで地域に役に立つ事業を徹底的に探求すべきだ。



美の哲学 — おまけ —

前回、「美の哲学」の連載を完了した。しかし、これで良いかと考えていたところ、気になることが若干出てきたので、「おまけ」としてもう1回延長することにした。

我慢してつきあってほしい。

美しいことは、物の真実や道徳的善、山や河の美……等があげられてきた。【美は真理の結果である】とはどういう事か。「美は真理の上に咲く花だ」という言葉もある。これは真理が深まるほどに美も一層美しさを増すことを言っているのだろう。

しかし、私には舗装道路の亀裂や道に落ちているゴミ、例えば板きれの年輪だって美しく見える。つまり、美はそれを見る人の側の問題でもある。この面をもう一步突き進んで考えてみよう。

「美とは何か」の問題は、美を感じる力が問題なのだ。美の論理より美を感じる力が大切。普通の人々が平凡に見える物にも、魂の深い人はもっと深い美を見つけ出すだろう。一つの物を美しいと感じるか否か、それを見る人がどれだけ深く人生を見つめ、どれだけ深く存在に触れているかにかかっている。深い美は見にくい物の奥にも見つけ出せるのだ。すべて、見る人の魂の問題であり、その人がどれだけ深く、存在の根源に触れているかだ。本当の存在をとらえることは、最高の美を発見することだ。その意味において、真理への意志は同時に美しい物へのあこがれでもある。

なんだか哲学的な話になってしまっ



た。タイトルが哲学だから、難しい話になっても仕方がないだろう。自分でじっくり考えることが大事なのだ。

同時に積極的に美を探求し、奥の美を見つけ、もっと奥にさらに美しい物がないか、果てしなく探求することが大事だ。のんびりした人は10年、20年……と時間をかけて考え続け、同時に探求を続けることが大切だ。そうすることによって、誰よりも美しい物を見つけることができる。最高の美を極めた者は「聖人」で、自ずから人格的にも最高になっているだろう。

この長い道のりは、自分の力と共に、たくさんの人々の力を借りながら、進めて行くことになる。たくさんの人々に助けられ、立派な人にならなければ、最高の美に到達できない。

とってもうれしいニュースです 秋吉台地域エコツアー リズム協会が環境省 のエコツアーリズム大 賞の特別賞を受賞

秋吉台でエコツアーリズムが始まって2年になる。私たちのエコツアーは昨年より一歩前進して、新しい魅力を積み重ねてきた。どんどん展開してゆけば、日本一のエコツアー地域になるに違いない。参加者がどれだけ満足していたかが決め手になる。

ところで、環境省が進めているエコツアーリズム振興法に基づいて「エコツアーリズム大賞」を実施して、全国のエコツアーの活性化を進めている。

秋吉台地域エコツアーリズム協会も、呼びかけに応じて、エコツアーリズム大賞に応募した。その結果、秋吉台のエコツアーリズムは特別賞を受賞した。始めたばかりのエコツアーだったが、第一歩の基礎固めができたように思われる。

私たちの目指すエコツアーは、1) 自然を大事にすること、2) 自然を深く深く、どこまでも、その奥底を追及すること、3) 地域の伝統文化を守り、4) さらに私たちの力で、エコツアー文化を築いてゆく、ことである。

秋吉台では日本でも最も古い自然保護運動が成功した実績がある。昭和31年に米軍の空爆演習地に指定された秋吉台を、学術的に重要な場所として破壊すべきではないと保護運動がおこった。先

表彰状

第四回エコツアーリズム大賞
特別賞

秋吉台地域エコツアーリズム協会

あなたの取組は環境省を主催する
第四回エコツアーリズム大賞に
おいて高く評価されました
よってその栄誉と讃えこれを
表彰します

平成二十年十月二十八日

環境大臣 斎藤 鉄夫

頭に立ったのは、松山基範山口大学長や小沢太郎山口県知事だった。

日本列島の誕生の秘密が隠されている秋吉台はかけがえのない重要な場所だ。この大事な台地を戦争の演習で壊してしまうのはあまりにも惜しい。絶対守るべきだ。こうして秋吉台は守られた。私たちは先人たちの守り抜いた秋吉台を大事にしなければならない。私たちの責任だ。

秋吉台は、たくさんの科学者がやってきて、すごい研究が積み重ねられてきた。科学者は自然を科学するだけでなく、短歌や随筆が書けた。だから、多様な秋吉台文化が蓄積された。音楽ができたり、絵や版画などの芸術にたけた人も多かった。つまり、教養を積み、人格形成に大きく関与していった。私たちは、先人たちに学び、秋吉台文化を継承し、どんどん知的創造を重ね、立派な人間を探求すべきだ。

研究や文化の探求だって、小手先で間に合わせるのではなく、人生をかけて徹底的に挑戦しなければならない。独創的なものは、人は笑ってバカにするが、マネものでなく、本当の独創性を大事にすべきだ。

こんな気持ちで、エコツアーを築き上げて、新しい秋吉台を生み出してゆこう。

